

人権教育だより『ひだまり』

第5号

島根県立江津高校

人権教育担当

島根県立江津工業高校

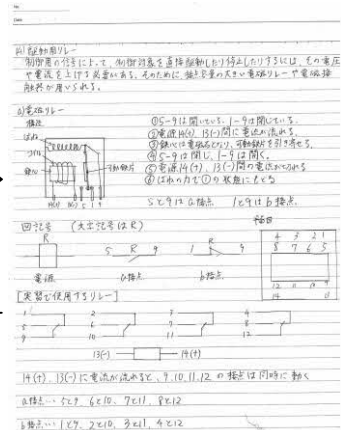
人権教育担当

令和5年2月4日（土）発行

新しい年を迎えて1か月が過ぎました。今年はいざなぎ年。みなさんにとって飛躍できる一年になりますように。さて、今回は江津工業高校の様子をお伝えします。同じ市内にある高校ですが、学んでいることが大きく異なる部分もあります。人権教育にかかわらず、‘多様性’ということばをよく耳にするようになりました。みなさん忙しい毎日を過ごしていると思いますが、こんな日々を過ごしているんだなあと、ちょっと自分から見える世界を広げてもらえれば…と思います。

☆専門教科の学び ～実習・課題研究・企業見学など

1年次に専門教科の基礎から学びます。手書きのレポートノートを見せてもらうと、難しい内容がきちっと書かれていて、びっくりするほどです。また、1年次から地元企業を中心に現場見学に行きます。実際に行き、自分の目でみることで得られるものは非常に大きな学びとなっています。1年機械・ロボット科「工業基礎」のノート



☆地域とのつながり

～江津警察署とのコラボ、有福温泉での活動、社会福祉施設とのコラボ、ミニ探究フェスタなど
江津工業高校では‘総合的な探究の時間’は「課題研究」という授業で、3年次に3単位または4単位履修します。ものづくりを通じて、課題解決に向けた探究をしています。課題研究以外でも、さまざまな授業で地域の方々と関わる機会があります。保育園、小学校をはじめ企業や地域で活躍される方々とともに、学ばせてもらっています。

3年生の実習・課題研究の風景

少人数のグループにわかれて授業を受けます

《機械・ロボット科》



実習スタート!ピシッと整列。



実習の内容を座学で確認

旋盤でミニ灯籠を作ったり、金属の強度を測定。



実習は4時間連続。休憩時間に心地よい日差しでつつい…でもリフレッシュしすぎでは?

《建築・電気科》



照度を計測中。



デジタルファブリケーションの技術で快適な椅子からおしゃれなツリまでできちゃいます。



工具のメンテナンスも念入りに。



役割分担をして、実習作業に臨んでいます。



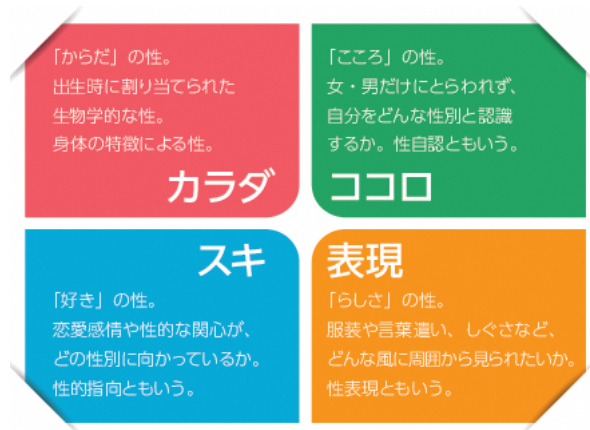
電光掲示板、大型デジタル時計、鉄道模型など電気コースの内容も幅広いです。



《江津工業生向けページ》

性の多様性について

1年生は先日のスクールカウンセラーの三浦先生にいただいたお話を思い出しつつ、2年生は2月13日に人権教育のホームルームで扱う内容ですので、目を通してみてください。



人の「性」のあり方は、「男」と「女」だけでなく、「からだの性」、「こころの性」、「好きになる性」、「表現する性」など、複数の要素から構成されます。一人ひとり顔や性格が違うように、「性」のあり方もそれぞれ多様です。

・ SOGI (ソジ、ソギ) とは？

Sexual Orientation (性的指向) と **Gender Identity** (性自認) の英語の頭文字をとったもの。多様な性の構成要素を表した言葉です。「LGBT」に対して、「SOGI」は全ての人の性の構成要素に着目した表現です。「誰もが当事者」と捉えやすくなり、最近では「LGBT」より「SOGI」という言葉が使われるようになってきています。



一部引用：島根県教育庁人権同和教育課「性の多様性が認められる学校づくり」

身近な人を傷つけない、傷つけられないようにするために、私たちは何ができるでしょうか。

気をつけたいこと (偏見や差別になります)

- 「男らしさ」「女らしさ」を押し付ける。
- 性的指向や性自認に関するうわさをする。
- 他の人の性的指向や性自認を公にする (アウティング)

※アウティングは重大な人権侵害です。絶対にしてはいけません。

もし当事者から打ち明けられた (カミングアウトされた) ときは

話してくれたことに感謝の気持ちや感じたことなどを素直に伝え、相手の望んでいることを聞いてみましょう。お互いの理解を深めることが大切です。

当事者かもしれないと思ったときは

理解してくれる人や仲間が必ずいます。辛いときは誰かに相談しましょう。学校の先生やスクールカウンセラーの先生も、一日の大半の時間を過ごす学校での生活が、過ごしやすくなるように、丁寧に相談にのります。